

この度、関越病院は2023年10月1日に埼玉県より『紹介受診重点医療機関』の認可を受けたことをご報告いたします。

近年、国（厚生労働省）は、地域の医療体制の整備、効率化の一環として、いわゆる基幹病院とかかりつけ病院（診療所）に大きく色分けし、それぞれに役割分担を求めて来ています。2021年より外来機能報告制度がスタートし、全国の病院での実態（初診、再診、救急の質と量）が丸裸にされ、それらのデータを元に病院の機能分化、再編を突き付けられました。

これまでは基幹病院として大学病院の『特定機能病院』、次いで400床規模の病院の『地域医療支援病院』が、主に紹介患者さんを診る病院として役割を果たしておりましたが、2023年より、その3番手として『紹介受診重点医療機関』が創設されました。これは、200床以上の規模の「医療資源を重点的に活用する外来を地域で担う」医療機関を指します。

当院は、昭和49年の開院以来、かかりつけ医機能を担いながら、施設の拡充に合わせて各種医療機器を導入、専門的医療も行ってまいりました。そして今回、新たな役割を担うべく、『紹介受診重点医療機関』となりました。

今後当院は、地域の医療機関との連携、役割分担を進めるべく、かかりつけの先生方からの紹介状を持参いただいた患者さんを診療することに重点をおいた病院としての役割を果たしていきます。そのために、医師を始めとした病院職員がしかるべきレベルの技術を獲得し、地域の皆さまの信頼に応えられるよう鋭意努力してゆく所存です。また、当院に長年かかりつけとして受診を続けておられる患者さんには、病状が安定し、地域のクリニックで診療を引き継いでいただければというようにしたら、当院から紹介状を発行のうえ、ご紹介させていただきます。

これからも、当院はこの地域における中核病院としての役目を果たすために、職員一同邁進してまいります。皆様のご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

関越病院 院長 中川芳彦